

日本陸上競技学会第2回大会

～パフォーマンスを高めるコツを考える～

期 日	2003年（平成15年） 12月13日（土）・14日（日）
会 場	順天堂大学

Japan Society of Athletics

大会会長挨拶

日本陸上競技学会
会 長 関 岡 康 雄

日本陸上競技学会第2回大会を迎えることになりました。本年3月に第1回大会を開催してから九ヶ月余の準備期間でしたが、会場をお願いした順天堂大学を初め関係各位のご尽力のお陰で第2回大会の開催に漕ぎ着けることができました。また、今回から大会日程も二日間とし、より本格的な学会への第一歩を踏み出すことになりましたことを会員の皆様とともに喜びたいと思います。

さて、日本陸上競技学会は、競技スポーツとしての陸上競技の活動を理論的に実践したり、トレーニング活動やコーチング活動の現場で生じる諸々の課題を理論的に解決して活動現場に還元するという目的にそった研究活動を通して、陸上競技の発展や競技力の向上に資することを目指しております。このことは、若年層競技者からトップレベル競技者やマスターズ段階の競技者までの多くの陸上競技愛好者がより一層楽しく陸上競技と取り組めるようにすることでもあります。しかし、実際の活動の現場で生じる諸々の問題を即座に理論的に解決するという事は極めて難しい課題であること等から、指導経験や活動経験をたよりにする経験主義的な活動の実際が存在しているとも考えられます。そのような問題の解消のために、『会員相互の努力で陸上競技の学習を深めよう』ということが大切になると考えます。

また、本年開催された世界選手権大会やユニバーシアード競技大会における我が日本代表の活躍は目を見張るものがありましたが、一方で競技愛好者の減少が懸念される状況でもあります。特に、若年層競技者の陸上競技への取り組みを一層活発にしたり、愛好者を増やすことの必要性が論じられています。

そこで、今回の大会では、シンポジウム(1)として『陸上競技(運動)の魅力的な授業づくりを考える』、シンポジウム(2)として『ジュニアの育成を考える』という討議の場を設けました。その他、日本の長距離マラソンに関するシンポジウムやトム・テレッツ氏のご協力をいただき、『日本の競技者への提言』と題するキーノートレクチャーを行うことにしております。ポスター発表を初め、日本陸上競技学会としてはいずれも初めての試みですが、充実した大会になることを願っております。

最後に、会場をお引き受けいただいた順天堂大学、指導者会議とシンポジウム(1)の併催のご理解とご協力をいただいた(社)日本学生陸上競技連合、学会大会開催へのご支援、ご協力をいただいた関係各位に心から感謝申し上げ、挨拶といたします。

日本陸上競技学会第2回大会開催にあたって

第2回学会大会実行委員会
委員長 澤木 啓祐

本年3月日本陸上競技学会が発足・設立され、第1回大会を東京学芸大学において開催し、ここに第2回学会大会を順天堂大学本郷キャンパスにおいて開催する運びとなりましたことを、会員の皆様とともに心から喜びたいと存じます。

陸上競技は順位と競技記録で争うスポーツであります。また「動き」と「型」の競技とも言われております。設立第1回大会は「陸上競技の指導と科学」をテーマとして行われましたが、今回は「パフォーマンスを高めるコツを考える」というメインテーマのもと、第1日目は「学校体育における陸上運動の魅力的な授業づくりを考える」を社団法人日本学生陸上競技連合との共同開催として行います。

第2日目には、指導経験豊かな方々による「ジュニア期の育成を考える」そして、世界に冠たるマラソン日本を支え、牽引されている方々による「日本の長距離・マラソンを考える」という3つのシンポジウムを通して、学校体育からトップアスリートまでの技術の習熟と向上、技術を指導する能力等々スポーツ技術の捉え方をそれぞれ日本を代表する著名な指導者・科学者の方を講師にお招きしております。

キーノートレクチャーとして「日本陸上界への提言」と題して、世界のトップスプリントコーチであるトーマス・テレッツ氏の講演を組み込んでおります。シンポジスト・講演者からの最先端の情報あるいはフロアとの活発なディスカッションを通じて学校体育からトップアスリートまでの陸上競技を語り高め合う機会にさせていただければ幸いです。

おわりに第2回開催に向けて精力的にご尽力・ご協力・ご支援いただいた関係者各位に感謝申し上げながら、本大会が今後ますます発展し日本陸上競技界の向上と進歩の礎になることを願っています。

大会日程

期 日：2003年12月13日(土)、14日(日)

会 場：順天堂大学(本郷キャンパス)

〒113-8431 東京都文京区本郷 3-1-3

12月13日(土)

I. 12:00~

受付

10号館1Fロビー

II. 13:00

開会

10号館1F

会長挨拶 関岡 康雄(仙台大学)
委員長挨拶 澤木 啓祐(順天堂大学)

III. 13:15~14:45

シンポジウム(1)

10号館1F

司 会：池田 延行(東京学芸大学)

“陸上競技(運動)の魅力的な授業づくりを考える”

渡邊 彰

(文部科学省スポーツ青少年局企画体育課教科調査官)

“これからの陸上競技(運動)の授業づくりへの期待”

加藤 謙一(宇都宮大学)

“研究成果にもとづいた陸上競技(運動)の授業づくりの考え方”

杉本 真智子(川崎市立王禅寺小学校)

“子どもたちのモチベーションを高める短距離走の授業づくり
(小学校6年生の実践)”

共 催：(社)日本学生陸上競技連合

IV. 15:00~17:30

一般研究発表

8号館フロアーロビー

ポスター発表(演題名・発表者名 19~21ページ)

V. 18:00~20:00

懇親会

有山記念館地下食堂

12月14日(日)

I. 8:30~

受付

有山記念館講堂入口

II. 9:10~10:40

シンポジウム(2)

有山記念館講堂

司会: 勝亦 紘一(中京大学)

“ジュニアの指導を考える”

越川 一紀(順天堂大学)

“成田高校を事例としたジュニアの指導法”

清田 浩伸(埼玉栄高校)

“女子ジュニア選手の育成—埼玉栄高校を事例”

有田 英夫(千葉県千漣町教育委員会)

“中学校選手の指導を通してのジュニア指導を考える”

III. 10:50~12:40

シンポジウム(3)

有山記念館講堂

司会: 小林 寛道(東京大学)

“日本の長距離・マラソンを考える”

澤木 啓祐(順天堂大学)

小出 義雄(佐倉アスリート倶楽部)

豊岡 示朗(大阪体育大学)

瀬古 利彦(SB食品)

IV. 13:30~15:00

キーノートレクチャー

有山記念館講堂

“陸上競技のコーチング: 日本の競技者への提言”

トム・テレツ(サンタモニカ・トラッククラブ)

通訳: 大嶋 康弘(ニシスポーツ)

V. 15:00~16:00

総会

有山記念館講堂

VI. 16:00

閉会

シンポジウム

シンポジウム (1)

“陸上競技（運動）の魅力的な授業づくりを考える”

司 会：池田 延行（東京学芸大学）

演 者：渡邊 彰

（文部科学省スポーツ青少年局企画体育課教科調査官）

加藤 謙一（宇都宮大学）

杉本 真智子（川崎市立王禅寺小学校）

シンポジウム (2)

“ジュニアの指導を考える”

司 会：勝亦 紘一（中京大学）

演 者：越川 一紀（順天堂大学）

清田 浩伸（埼玉栄高校）

有田 英夫（千葉県干潟町教育委員会）

シンポジウム (3)

“日本の長距離・マラソンを考える”

司 会：小林 寛道（東京大学）

演 者：澤木 啓祐（順天堂大学）

小出 義雄（佐倉アスリート倶楽部）

豊岡 示朗（大阪体育大学）

瀬古 利彦（SB食品）

シンポジウム (1)

陸上競技 (運動) の魅力的な授業づくりを考える

司会

池田 延行 東京学芸大学

プロフィール

1950年5月31日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・小学校を中心として、これからの体育の授業づくりを研究している。
- ・文部科学省・教育研究開発に関する企画評価会議協力者
- ・国立教育政策研究所・学力調査に係る企画委員会協力者、他

これからの陸上競技 (運動) の授業づくりへの期待

渡邊 彰 文部科学省スポーツ青少年局企画体育課

プロフィール

1957年月4日10生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・小学校の体育教育課程について、担当している。
- ・主な著書、「小学校体育科 基礎・基本と学習指導の実際」(東洋館出版社・共著), 「教育技術MOOK 評価と学習カード 体育科」(小学館・共著)

研究成果にもとづいた陸上競技 (運動) の授業づくりの考え方

加藤 謙一 宇都宮大学教育学部

プロフィール

1959年9月23日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・発育発達の分野から短距離走の研究を進めている。
- ・主な研究「ジュニアスプリンターの疾走能力の発達に関する縦断的研究：体育学研究第44巻4号, 1999
- ・元室内50m日本最高記録
- ・日本陸上競技連盟科学委員会委員

子どもたちのモチベーションを高める短距離走の授業づくり (小学校6年生の実践)

杉本真智子 川崎市立王禅寺小学校

プロフィール

1960年2月16日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・1981年川崎市立登戸小学校着任, 1992年王禅寺小学校着任
- ・1986年より川崎市立小学校体育研究会常任委員

シンポジウム (2)

ジュニアの育成を考える

司会

勝亦 紘一 中京大学

プロフィール

1942年11月11日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・体育科教育学, 体育方法学の分野から陸上競技の指導法について研究を進めている。
- ・主たる研究「短距離走の指導法に関する研究」: 現代体育・スポーツ科学大系1984年他
- ・オリンピック選手, 青戸, 笠原, 鈴木等を指導
- ・元日本陸上競技連盟ジュニア部長

成田高校を事例としたジュニアの指導法

越川 一紀 順天堂大学

プロフィール

1956年1月23日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・「走、跳、投における基本動作(動きづくり)」、「跳躍技術に関する画像分析」等の研究を進めている。
- ・モンテリオール五輪走高跳代表
- ・成田高校監督在任中, 全国高校総体男子総合優勝(3回), 個人種目での優勝者を多数育成。現在も女子走幅跳, 花岡麻帆の指導にあたる
- ・順天堂大学陸上競技部跳躍コーチ
- ・日本陸上競技連盟ジュニア強化副部長

女子ジュニア選手の育成—埼玉栄高校を事例

清田 浩伸 埼玉栄高等学校

プロフィール

1961年11月4日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・ジュニアの指導
- ・1989, 1990年全日本中学 男子4×200mリレー優勝(2連覇・日本中学新記録)
- ・1992, 1993年全日本中学 女子100mH優勝(2連覇)
- ・2001, 2002, 2003年インターハイ 女子総合優勝(3連覇)
- ・第10回アジアジュニア選手権大会日本代表選手団短距離コーチ

シンポジウム (2)

中学校選手の指導を通してのジュニア指導を考える

有田 英夫 千葉県干潟町教育委員会

プロフィール

1966年11月29日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・1989～2001年小見川中学校陸上部顧問
- ・元千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部門強化部長
- ・小見川中学校陸上部外部コーチ
- ・小見川陸上クラブコーチ (地域陸上クラブ)

シンポジウム (3)

日本の長距離・マラソンを考える

司会

小林 寛道 東京大学大学院総合文化研究科

プロフィール

1943年6月24日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・運動生理学, 体力科学, バイオメカニクス, スポーツ科学, 発育発達学
- ・日本発育発達学会, 日本運動生理学会, 日本体力医学会, 日本バイオメカニクス学会, 各理事

シンポジスト

澤木 啓祐 順天堂大学

プロフィール

1943年12月8日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・メキシコ五輪(1968), ミュンヘン五輪(1972)5000m, 10000m出場, 1500m, 2000m, 3000m, 5000m, 10000m, 20km(元日本記録保持者)
- ・ソウル五輪コーチ(1988)
- ・順天堂大学陸上競技部監督在任中, 関東学生陸上競技対校選手権大会優勝4回, 日本学生陸上競技対校選手権大会優勝10回, 東京箱根間往復大学駅伝競走大会優勝9回
- ・日本陸上競技連合理事, 日本盲人マラソン連盟理事
- ・順天堂大学陸上競技部総監督
- ・日本陸上競技連盟強化委員長

シンポジウム (3)

小出 義雄 佐倉アスリート倶楽部

プロフィール

1939年4月15日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・高校教諭, リクルートランニングクラブ監督を経て, 1997年積水化学女子陸上競技部へ移籍。2002年同社退社, 現在, 佐倉アスリート倶楽部(株)代表取締役。
- ・有森裕子, 鈴木博美, 高橋尚子, 千葉真子らを指導。
- ・市立船橋高等学校監督として全日本高校駅伝優勝
- ・有森裕子, バルセロナ五輪マラソン銀メダル(1992), アトランタ五輪マラソン銅メダル(1996)
- ・鈴木博美, 世界陸上アテネ大会マラソン金メダル(1997)
- ・高橋尚子, 名古屋国際女子マラソン優勝(1998)(日本記録), アジア大会マラソン優勝, 名古屋国際女子マラソン優勝(2000), シドニー五輪マラソン金メダル(2000), ベルリンマラソン優勝(2001)(世界記録)
- ・千葉真子, 世界陸上パリ大会(2003)マラソン銅メダル
- ・主な著書, かけっこの職人芸(ランナーズブック), 夢を力に!(THE MASSADA), マラソンでたらめ理論(ベールボールマガジン), 高橋尚子金メダルへの絆(日本文芸社)他多数

瀬古 利彦 S B 食品

プロフィール

1956年7月15日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・日本マラソン界第一人者として活躍, マラソン成績15戦10勝。
- ・東京国際マラソン優勝(1983), ポストンマラソン優勝(1987), ロサンゼルス五輪マラソン代表(1984), ソウル五輪マラソン代表(1988)
- ・エスビー食品陸上部監督
- ・日本陸上競技連盟強化委員
- ・陸上競技協会理事

豊岡 示朗 大阪体育大学

プロフィール

1946年8月28日生

○研究分野, 競技歴, 指導歴など

- ・体力科学(マラソン, 体脂肪燃焼など)
- ・ランニング学会理事長
- ・日本陸上競技連盟企画情報部員

キーノートレクチャー

キーノートレクチャー

陸上競技のコーチング：日本の競技者への提言

Tom Tellez

Santa Monica Truck Club

キーノートレクチャー

陸上競技のコーチング：日本の競技者への提言

Tom Tellez Santa Monica Truck Club
(トム・テレツ) (サンタモニカ・トラッククラブ)
プロフィール

1933年10月17日生

○研究分野，競技歴，指導歴など

・指導した主な選手

Carl Lewis (カル・ルイス) 100m 元世界記録保持者 (9" 86),
金メダル 8, 銀メダル 1 (オリンピック)

Leroy Burrell (ロイ・バレル) 100m 元世界記録保持者 (9" 85)
1992 年オリンピック 金メダル

Joe DeLoach (ジョー・デーローチ) 1988 年オリンピック 200m 金メダル

Mike Marsh (マイク・マーシュ) 1992 年オリンピック 200m, 4×100mR
金メダル

200m アメリカ記録保持者 (19" 73)

他多数

- ・1991 年世界選手権 アメリカナショナルチーム 男子監督,
- ・前ヒューストン大学 陸上競技部 監督,
- ・現在, サンタモニカ・トラッククラブ コーチ

一般研究発表（ポスター発表）

会場：8号館フロアーロビー

12月13日(土)15:00~17:30

0001

ベルノ・ウィシュマンと陸上競技

○勝亦 紘一（中京大学），本田 陽（中京大学体育学部），千葉 智博（中京大学研究生）

0002

上肢および下肢の筋パワー発揮能力からみた槍投げ競技者の体力特性

○田内 健二（国立スポーツ科学センター），前村 公彦（筑波大学大学院），
高松 薫（筑波大学）

0003

短距離走における腰の三次元動作解析

○松尾 彰文（国立スポーツ科学センター），小林 寛道（東京大学），
川原 貴（国立スポーツ科学センター），山辺 芳（国立スポーツ科学センター），
岩本 陽子（国立スポーツ科学センター）

0004

男子陸上競技選手における種目別筋力特性の検討

○石川 拓次（順天堂大学スポーツ医学），桜庭 景植（順天堂大学スポーツ医学），
澁谷 尚弘（順天堂大学スポーツ医学），岩田 学（順天堂大学スポーツ医学）

0005

中学・高等学校時代のウェイト・トレーニングの施設と方法に関する研究 —仙台大学陸上競技部員について—

○藤井 邦夫（仙台大学），長野 史尚（仙台大学大学院），横川 和幸（仙台大学），
大久保 初男（仙台大学）

0006

走幅跳踏切動作に関する研究—脚動作と筋力の関係から—

○志賀 充（筑波大学），尾縣 貢（筑波大学体育科学系），
永井 純（筑波大学体育科学系），宮下 憲（筑波大学体育科学系）

0007

走幅跳の踏切準備および踏切局面における動作の変化パターン

○村木 有也（筑波大学），阿江 通良（筑波大学体育学系），
小山 宏之（筑波大学人間総合科学研究科）

0009

100m走における疾走動作変容のキネマティクスの分析

- 羽田 雄一 (筑波大学大学院), 阿江 通良 (筑波大学体育科学系),
榎本 靖士 (筑波大学体育科学系), 藤井 範久 (筑波大学体育科学系),
尾縣 貢 (筑波大学体育科学系)

0010

スクワットにおける運動速度の変化が股関節と膝関節まわりの筋の活動に与える影響

- 真鍋 芳明 (筑波大学大学院), 横澤 俊治 (筑波大学体育科学系),
尾縣 貢 (筑波大学体育科学系)

0011

踏切地点の高さおよび傾斜が走幅跳の踏切動作におよぼす影響

- 小山 宏之 (筑波大学大学院), 阿江 通良 (筑波大学体育科学系),
村木 有也 (筑波大学体育科学研究科)

0012

長距離走行時における下肢筋張力の推定

- 横澤 俊治 (筑波大学大学院), 藤井 範久 (筑波大学体育科学系)

0013

一流長距離ランナーの身体特性に関する事例報告

~2003 世界陸上代表選手を対象として~

- 鯉川 なつえ (順天堂大学), 中丸 信吾 (順天堂大学), 濱名 慶匡 (順天堂大学),
澤木 啓祐 (順天堂大学)

0014

走高跳における短助走踏切トレーニングに関する事例的研究

- 濱名 慶匡 (順天堂大学スポーツ健康科学部), 越川 一紀 (順天堂大学),
中丸 信吾 (順天堂大学), 青木 和浩 (順天堂大学)

0016

陸上競技長距離走者の重心動揺と下肢筋群のバランス・競技能力との関連性について

- 河野 良平 (順天堂大学), 仲村 明 (順天堂大学), 金子 今朝秋 (順天堂大学),
佐久間 和彦 (順天堂大学), 澤木 啓祐 (順天堂大学)

0017

中長距離走トレーニングにおけるレッドミル走テストの活用例

- 佐伯 徹郎 (日本女子体育大学)

0018

投てき選手の主観的技術構造

- 岡野 雄司 (日本大学), 小山 裕三 (日本大学), 村上 幸史 (日本大学大学院),
栂沢 聖子 (日本大学), 重城 哲 (日本大学), 加藤 弘一 (都立片倉高等学校),
安井 年文 (青山学院大学)

0019

跳躍選手の主観的技術構造

- 加藤 弘一 (東京都立片倉高等学校), 青山 清英 (日本大学), 小山 裕三 (日本大学),
重城 哲 (日本大学), 岡野 雄司 (日本大学大学院), 田端 健児 (日本大学大学院),
村上 幸史 (日本大学大学院), 安井 年文 (青山学院大学)

0020

陸上競技選手における動き方の意識について

- 安井 年文 (青山学院大学), 青山 清英 (日本大学), 小山 裕三 (日本大学),
澤村 博 (日本大学), 田端 健児 (日本大学大学院), 岡野 雄司 (日本大学大学院)

0021

長距離競技者のコンディショニングに関する事例

ー試合前のコンディショニングに着目してー

- 西城 克俊, 志賀 充 (筑波大学体育科学系), 永井 純 (筑波大学体育科学系),
長沼 祥吾 (アコム), 平野 了 (アコム)

ポスター発表演題・追加

0008

姿勢に関する指導の即時的効果についてージャンプ運動に着目してー

- 木越 清信 (筑波大学大学院), 尾縣 貢 (筑波大学体育学系)

0015

長距離走者の競技成績と脚筋力の関連性について

(脚筋力強化を意図した跳躍走の観点から)

- 仲村 明 (順天堂大学), 澤木 啓祐 (順天堂大学), 吉儀 宏 (順天堂大学),
河野 良平 (順天堂大学)